

平瀬川（多摩川合流部周辺）

中長期対策

ア. 平瀬川（多摩川合流部周辺）の現状

平瀬川は、県が管理する一級河川であり、時間雨量50ミリの降雨に対応した河道の整備が完了しており、川崎市が改修工事や維持を担っている。

多摩川合流部周辺については、多摩川の計画堤防高（TP16.36m）に対して、平瀬川は昭和49年から57年の整備により、時間雨量90ミリ相当※の降雨に対応できる河道整備（堤防実測値：TP13.23m）が完成している。

※上流域で現在施工中である五反田川放水路事業等の完成後



平瀬川(多摩川合流部周辺)



平瀬川(多摩川合流部周辺)平面図

イ. 中長期対策の方向性

令和元年東日本台風では、多摩川において計画高水位を超える状況の中、平瀬川（多摩川との合流部）においても水位が上昇し、平瀬川の堤防等から越水したことを踏まえ、多摩川との合流部における平瀬川の堤防嵩上げ等の機能強化などについて、国及び県、川崎市が連携して対策の検討・調整を行っていく。

ウ. 現在の進捗状況

- ・平瀬川の堤防嵩上げ等の機能強化に関しては、神奈川県と連携し、国土交通省京浜河川事務所及び関東地方整備局河川部と合流点処理について協議を行っている。
- ・平瀬川における多摩川合流部対策については、今回の浸水被害を踏まえ、堤防の嵩上げ等の検討を行っており、現在、その具体的な内容について、国、県、市で調整している。
- ・今後、神奈川県が合流部対策を含めた、平瀬川の「河川整備計画」（案）を取りまとめた上で、速やかに国との協議などを進め、来年度上半期の策定を目指していく。